

動物解剖用両面安全キャビネット 一式  
(搬入、据付、配線、配管、調整を含む)

仕 様 書

令和7年5月

滋賀医科大学

## I. 仕様書概要説明

### 1. 調達の背景及び目的

滋賀医科大学 動物生命科学研究センター（当センター）は、サル類を用いた医科学研究機関としては国内屈指の規模を有する国立大学法人の動物実験施設である。当センターにおいては発生工学的技術を用いた遺伝子改変疾患モデル動物（カニクイザル）の作出および応用医科学研究の向上発展に資することを目的として研究が進められている。一方、カニクイザルを用いた人獣共通感染症研究に関しては ABSL-3 の実験施設を有する国内屈指の研究機関となっている。今回、取り扱い病原体の追加に伴い被験個体を安全に解剖・材料採取が行うことができる装置を調達し、感染サル飼育区域に設置する必要が生じた。その装置は安全キャビネットであり、特に実験動物としてのカニクイザルを操作する際に生じる作業が円滑に実施できる性能が必要となる。

### 2. 調達物品名及び構成内訳

動物解剖用両面安全キャビネット	一式
（構成内訳）	
1) 動物解剖用両面安全キャビネット	2台

以上、搬入、据付、配線、配管、調整を含む。

### 3. 技術的要件の概要

- 1) 本調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は、Ⅱ. 調達物品に備えるべき技術的要件に示すとおりである。
- 2) 技術的要件は、すべて必須の要求要件である。
- 3) 必須の要求要件は、本学が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- 4) 入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、本学技術審査職員において、入札機器に係る技術仕様書を含む入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

### 4. その他

#### 1) 仕様に関する留意事項

入札機器は原則として入札時点で製品化されていること。入札時点で製品化されていない機器によって応札する場合は、技術的要件を満たすことの証明及び納入期限までに製品化され納入できることを保証する資料及び確約書等を提出すること。

## 2) 入札に関する留意事項

- ①入札に関しては、入札機器が本仕様書の要求要件をどのように満たすか、あるいはどのように実現するかを要求要件毎に具体的かつわかり易く資料を添付する等して記載すること。従って、審査するに当たって提案の根拠が不明確、説明が不十分であると技術審査職員が判断した場合は、要求要件を満たしていないものとみなす。
- ②提出資料等に関する照会先を明記すること。
- ③提出資料等について、問い合わせやヒアリングを行う場合があるので、誠実に対応すること。
- ④入札機器が仕様を満たしていることを、提出書類のどの部分で証明できるか、参照すべき箇所を明記すること。参照すべき箇所がカタログ、図面、仕様書等である場合には、アンダーラインを付したり、余白に大きく矢印を付したりすることによって当該部分をわかりやすく明示すること。

## 3) 導入に関する留意事項

- ①導入スケジュールについては、本学と協議し、その指示に従うこと。
- ②搬入、据付、配線、配管、調整に要するすべての費用は、本調達に含む。

## II. 調達物品に備えるべき技術的要件

(性能、機能に関する要件)

### 1. 動物解剖用両面安全キャビネット 2台

動物解剖用両面安全キャビネットについては、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 機器外寸は W1,700×D840×H2,005 mm以下であること。
- 1-2 既存の搬入経路から搬入するため、機器分割が下記寸法で可能であること。
  - 1-2-1 架台：W1,700×D840×H800 mm (±2.0mm)
  - 1-2-2 本体：W1,700×D840×H1,385 mm (±2.0mm)
- 1-3 庫内作業寸法が、W1,300×D720 (作業台および吸込口を含む奥行) ×H650 (作業面から吹出し面) mm以上であること。
- 1-4 体液の漏洩を防止するため、庫内作業面 (吸込口を除くフラット作業面) は、前後吸込口面から 15 mm (±2 mm) 低く、W1,280×550 mm以上であること。
- 1-5 吸込口 (シャッター下限点) の高さを、FL+800 mmにアジャスタボルトにより調整可能であること。
- 1-6 本体の材質は、鋼板 (メラミン樹脂焼付塗装) であること。
- 1-7 作業面の材質は、ステンレス鋼板 (SUS304) であること。
- 1-8 吸込口に金網フィルタを設けていること。
- 1-8-1 吸込口スリットは脱着が容易であること。

- 1-8-2 吸込口スリット内の金網も脱着が容易であること。
- 1-9 前後から同時に作業台へアクセスできるように、前後に傾斜式のスライドシャッターを設けること。
- 1-10 スライドシャッターは、強化ガラスとし透過性を有し、開口 H200 mmにおいてストッパーを設けており、450 mm以上開口できること。
- 1-11 本体電源は、単相 100V15A で運転が可能であり、漏電ブレーカを設けていること。
- 1-12 庫内に金属コンセントカバー付きのコンセントを両側面に各 1 箇所（計 2 式）設け、2 式併せて単相 100V 最大 15A で使用が可能であり、機器と独立した漏電ブレーカを設けていること。
- 1-13 庫内照明は、40W 型の白色 LED を 4 本設置していること。
- 1-14 殺菌灯は 15W とし、庫内両側面に各 1 本（計 2 本）設け、タイマにより 0.5～6h または、連続運転が任意に設定可能であること。
- 1-15 庫内を水洗い清掃が可能のように、作業台は取り外し可能な仕様とし、庫内底面に排液栓を設けていること。
- 1-16 集塵効率は、PAO 粒子  $0.3\mu\text{m}$  99.99%以上であること。
- 1-17 循環および排気 HEPA フィルタを設けること。
- 1-18 シャッター両面開口部 200 (mm) にて、平均流入風速が 0.50m/s 以上であり、平均吹出風速が 0.30m/s 以上であること。（バイオハザード A2 ガイドラインに準拠していること。）
- 1-19 庫内気流は、吹出面から下に流れ、上向きに流れがなく、庫内から漏出しないこと。
- 1-20 開口部、ガラス通過開口、排気口を密閉し、圧縮空気を用いてキャビネット内を 500～600Pa に加圧した後、30 分後の内圧低下が 10%以内であること。
- 1-21 HEPA フィルタの交換時期の目安となる、運転積算表示が可能であること。
- 1-22 安全機能として、循環および排気 HEPA フィルタの差圧異常を運転中常時監視し、異常を知らせる機能を有すること。
- 1-23 安全機能として、スライドシャッターの位置を監視し高さの異常を知らせる機能を有し、解放時は殺菌灯を点灯させない機能を有すること。
- 1-24 安全機能として、照明と殺菌灯は同時点灯させない機能を有すること。

(性能、機能以外に関する要件)

## 1. 納入場所

- 1) 納入場所については、本学、動物生命科学研究センターとすること。

## 2. 設置条件

- 1) 物品の搬入、据付、配線、配管、調整については、本学の業務に支障をきたさないように本学職員と協議の上、その指示に従うこと。
- 2) 物品の搬入、据付、配線、配管、調整に必要な資材、消耗品、その他必要な費用は全て本調

達に含まれること。

- 3) 導入スケジュールについては、本学職員と協議し、その指示に従うこと。

### 3. 保守体制等

- 1) 故障および緊急時に迅速に部材供給等ができるように、サービス拠点および製造工場が国内にあること。
- 2) 必要な保守物品は、常時保有することとし、万全の体制を期すること。
- 3) 納入検査確認後1年間を無償保証期間とすること。

### 4. その他

- 1) 本物品の導入時に本学関係者に十分な操作説明及び教育指導を行うこと。
- 2) 本物品を構成する装置の日本語版操作マニュアルを2部提出すること。
- 3) 技術的な相談に速やかに応じる体制が整えられていること。
- 4) 指定場所へ当該装置を設置した後、公益社団法人空気清浄協会（JACA）のバイオハザード対策用クラス2キャビネット現場検査技術者の資格を有する検査員にて、設置後性能適格性試験（性能検査）を実施し、バイオハザードクラスA2ガイドラインに準拠していることを証明する検査報告書を作成提出すること。また、性能試験に必要な計測機器等は請負者が準備すること。
- 5) 機器の製造及び搬入において、OEMを含み国立大学法人への納入実績が豊富であること。
- 6) 実験動物用機器の設計製作において、十分な知識と経験を有すること。
- 7) 機器仕様条件の変更に伴い、技術的に可能な範囲で臨機応変に対応を実施できること。また、本改造、改修に係る費用は本調達に含まない。